

大乘キリスト教相應の聖地ブラジル

昭和三十八年八月二十九日、全伯幹部蹴起大会結語

生長の家総裁 谷 口 雅 春

ブラジル全土に三ヶ月にわたっての講習講演旅行の最終日にあたりまして、「全伯幹部の奮起を促す」といふ題で結語となるものを話してくれといふことでありますが、そのやうなことは、奮起してゐないといふのを前提にして「奮起を促す」といふやうな言葉が出てくるのでありまして、皆さんは既に大いに奮起してゐられると信ずるので、そのやうなことを申上げる必要はないのであります。

すべて、不完全な姿がある。と信じて、それを完全にしようと思ふと、それは成功しないといふことを講義したのであります（笑声）（拍手）もう既に、皆さんはこの全人類の光明化は我々の使命であり、そして既に全力を以て積極的に勇敢に邁進するといふ決意を發表されたのでありまして、それに違ひないことを私は信頼

するのであります。(拍手)

昨日、アメリカのレリジャス・サイエンスの主宰者である、ホルナデイ博士からの手紙を日本から転送して来たのでありますが、その中に、ブラジルに於ける私達の講演会講習会の盛大なことを聞いてそれを祝福してこのやうに書いてゐられるのであります。

「この生長の家の教へは、聖霊によつて満たされてゐるのであるから、このブラジルを中心に、ブラジルだけでないに、これを契機として南米全体にこの生長の家は拡がるであらう」(拍手)

このレリジャス・サイエンスの宗教は新らしきキリスト教でありまして、生長の家の教へと全くよく似てゐるのであります。生長の家の精神から日本的なものや仏典の解説を抜いて聖書を典拠にしたところだけにすれば殆んど似てゐるといってもいいのでありまして、世界全体に組織を持つてをられる立派な宗教であります。その本部は北米のロスアンゼルスにありまして、その講堂は三千人を入れて、なほ余りがある程の会場であります。

日本の生長の家本部の大講堂よりも大分広いのであります。それは椅子席で三千人を入れて余りがあるから、本部の会場なんかは一所懸命につめて坐つて二千人以上か這入らるのでありますが――さういふ点からもレリジャス・サイエンスといふ宗教がアメリカにおいては、相当規模が大きくひろがつてゐる宗教であることがわかるのであります。

そのレリジャス・サイエンスの主宰者ホルナデイ博士は非常に立派な、真理の普及のためには自分の教会の

利害関係など棄てて、無我献身になって尽して下さる方でありまして、アメリカ大陸に於ける私の講演の大部分は、このホルナデイ博士自身の斡旋によって諸方で講演することが出来たわけであります。ところが、レリジャス・サイエンスでも「人間神の子であり、罪の子でない」といふ真理を説いてゐるので同気相寄ると申しますか、私が「人類無罪宣言」の講演を諸方の教会でやってまゐりましたら非常によろこばれたのであります。

さて北米の講演を終つてブラジルへ来るといふことになった時に、随行の人達が一寸心配したのであります。といふのは、ブラジルはカトリック教国であつて、「人間は罪の子である」といふ教へが殆んど国教の如く拡がつてをるのであるから、もし、谷口先生があゝアメリカで講演されたそのままの人類無罪宣言をブラジルでやられたら、「国教に反する」といふので「国外追放」の処分を受けるかもしれない（笑声）といふやうなことで、「先生、何とかもう少しやはらげてもらへないものか」（笑声）といふやうな言葉もちよいちよい出たのでありましたけれども、さてブラジルへやってまゐりますと、追放どころか、実に諸方で歓迎されて、三つの州の「州賓」として特別待遇を受け、各市へまゐりますと市長が率先して歓迎して下さるし、楽隊が先頭に立つて街頭行列をしたり、もう今まで日本で見たこともないやうな盛大な歓迎（笑声拍手）がはじまつたのであります。そして、「人類無罪宣言」の講演をしても、素直にそれが受け入れられて、国外追放にもならない、（笑声）（拍手）わたしはブラジル国の人達はまことに真理に対して素直な幼な子の心といふのを以て受け入れられる国民だと感じたのであります。

それどころか、このブラジル国こそ本当のイエスの正しきキリスト教が宣布され、キリスト教の新らしき革

命がおこなはれる可能性のある国であるといふことを私は直感したのであります。（拍手）

今まで釈迦が出現して法を説いてから仏教が三千年も布教せられ、イエスが生れて来てからキリスト教が約二千年間も布教されてゐながら、少しも人類はよくなならないで、戦争兵器の製造競争をしてゐるし、共産主義にせよ、資本主義にせよ、物質の奪ひ合ひばかりをやつてをって、少しも人類の道徳性が進歩しないで闘争精神に明け暮れてゐる。それは一体どういふわけでありませうか。その理由といふのは、釈迦の教へ、キリストの教へが本当に宣べられてゐないで、レッテルはキリスト教であり、仏教であるけれども、全然中味が違つたものが布教せられてをったからであります。即ち仏教では「人間は罪惡深重の凡夫である」と人間を前科者の如く説き、キリスト教では「人間は罪の子」であり、アダムの原罪を背負つてゐるところの、生れながらにして悪いことをするより仕方がない」といふやうな人間觀のもとに教へがなされ、さういふ「人間の性惡説」の宗教教育を施されて来てをったものでありますから、「罪惡深重」とか「人間罪の子」といふ「言葉の力」によつて、人間の本来の「善性」が呪縛されて覆はれることになつたり、釈尊のお説きになつた「人間本来仏子」の教へも、キリストのお説きになつた「人間・神の子」の教へも、いつの間にか歪められてゐたからであります。これから本当に人類を良くするためには、本当のキリスト教、本当の仏教といふものが説かれなければならぬのであります。すなわちキリスト教の最初の教祖——イエスの教へそのものに還る所の本当のキリスト教を樹立して、キリスト教に新らしき革命を持ち来さなければならぬ。それがブラジルを本当に繁栄させる道であり、そのイエスの本当の教へがひろまるのに一番適當した土地はこのブラジル国であるといふこと

を痛感したのであります。(拍手)

世界の人類の不幸を救ふにはどうしても罪の觀念による自己処罰を捨てさせなければならぬのであります。人間・罪の子、罪の子」といふ宗教家たちの与へる催眠術的暗示によつて、人類は罪ある行ひを「やめよう」と思ひながらその暗示に動かされて罪を重ね、罪を重ねる。これを暗示感應現象と申します。心理学の初歩を学んだ人なら誰でも知つてゐる事実であります。そして自己を「罪の子」と信ずると、自らその罪の償ひのために不幸を重ね、更に、自己処罰として自分をよごすために罪を重ねて行く、といふやうなことを連鎖反応的にくり返すことになる。これが人類に病氣や不幸や災難や戦争の絶えない理由であります。さういふ現状を救済するのには、根本的に吾々の「人類無罪宣言」を徹底させなければならぬと痛感するのであります。そしてその最も最初に口火を切るべき、人類の幸福の根本のために必要なキリスト教改革の口火を切り、烽火を上げるべき謂はば、大乘相應の地はこのブラジル国である(拍手)といふことを感じた訳であります。

私は北米に於てもブラジルに於ても「人類無罪宣言」を諸方で講義するのに、キリストのバイブルにあるところのイエスの言葉そのものを引用して説いてまゐりました。「キリストはかう言つた」「イエスはかう言つた」と、聖書に書いてあるそのままのことを私は言つてゐるのである、と言つて聖書の章句を示して説いて来ましたから、今までのキリスト教徒も、カトリック教信者も、カトリック教の牧師さんも、坊さんもそれに反対することは出来ず皆々賛成、大歓迎されたのでありまして、聖書にちゃんと「人間は罪なきもの」といふことがはっきり出てゐる、その点を強調して、其処に新しきキリスト教——といふよりも寧ろ本当のイエスの

教へに立ち還った正しいカトリック教を此処にうち立てること、それが生長の家のブラジルに於ける使命であるといふことを私は感じました。カトリックとは「普遍的真理の教へ」といふ意味でありますから、正に生長の家こそは本当のカトリックであります。そしてかくの如く、各都市の市長達が私を非常に歓迎されたその勢ひのさめないうちに「クライスト・チャーチ・オブ・セイチョーノイエ」を建てること、人類救済の最初の神の拠点をブラジルに建てることになると信じるのであります。

そんな訳で、私が講演会或ひは講習会をやりました各都市においては、その市長さんがたが皆賛成して下さいるのでありますから其の都市毎に皆さんが、生長の家キリスト教会を建てることはいと易しい。そしてそこで、本当のキリスト教を宣布して人類を救済し、ブラジルを立派な「本当のキリスト教国」にして頂きたいと思ふのであります。

その計画に従って各地に「生長の家キリスト教会」が出来れば、その各々の教会に主任牧師となるべき人物が必要でありまして、さういふ人物を養成するために適当な人を選んで日本に留学させて頂きたい。ブラジル語に達者な人で、日本語も少しは解る人がよい。さういふ人を選んで日本に送って頂きたい。そして日本に於て、日本語でかういふ宗教語はブラジル語ではこのやうに説くのであるといふことをよく解った人が、二、三年日本で修業した結果、その教会主任牧師としてブラジルへ帰って其処で布教をして頂くといふことにして頂きたいと思ふのであります。（拍手）

さういふやうに各地に「生長の家キリスト教会」が出来ることになりましたら、又私はブラジルへまゐりま

して（拍手）そしてその各都市に於ける生長の家キリスト教会を中心に講演してまほりたい。その時は皆さんは日本人を主とするだけでなしに、ブラジル人をも主として大いにその教会に集める。又教会だけでなしに、大会場を何とか得て、其処でブラジル人に対して講演会や講習会を開くといふやうにやって行きたいと思ふのであります。

ブラジルでは最近、総支部の隣りに地面を求められまして、サンパウロにももっと大きな総支部の建物が出る準備が出来たのでありまして、彼処も次第に拡張されて、日曜学校等を作り、そしてブラジル語と日本語と両方対照して「生命の真相」の真理を研究するクラスを作って頂きたいと思つてゐるのであります。

最近、アメリカ合衆国からの報告によりますと、ロサンゼルスに、これは二・七エーカーと書いてありますが、日本の坪数に直すと、約三千坪であります。その地面を六千万円で得まして、其処に北アメリカに於ける生長の家布教の総本部を建設するといふことになりました、既に地面を落札して買収したといふ報告が来てゐるのであります。アメリカでは教会の建物が出来ましても、駐車場がないと人が集れないのであります。それで建物の三倍位の駐車場の面積があるのでありましてね。さういふ訳でその敷地を日本の坪数に換算してみましたら、それは約三千三百坪になるのでありまして、それ程広くはないのでありますけれども、しかしそれに千坪位の建物を建てれば、後は駐車場にすれば役に立たんこともないと思ふのであります。

北アメリカの信者の数といふのは、さう沢山ないのであります。聖使命会員の口数が、一万八千位しかないのであります。それで六千万円の土地の買収費を支払つてそこにこの大講堂を建てて駐車場をこしらへるとい

ふ決意をして、その第一歩を進めてゐるといふことは非常に素晴らしい信仰なくてはできない決意であると思ふのであります。併し人間は「神の子」であり、無限力がありますから、本当に決意すれば「為せば成る」のであります。

このブラジルに於ける日本人の数及び生長の家の信徒の数、講習会に集まれた人々の数といふものをアメリカ合衆国と比較いたしますと、ブラジルの方が十倍、二十倍といつていい程の優勢な立場にをられるのであります。ですから皆さんがなほ一層の大決意をもつて、この運動を拡め、そしてより立てて行くことになさいます。立派なもの、ロサンゼルスに計画されてゐるところの、アメリカ合衆国の総本部の建物の土地よりもずっと

このイビウーナの道場へまゐりましたら、周囲の山々の景色、おだやかな風光、全く聖地であるといふ感じがいたしました。そのロサンゼルスの本部よりも土地も非常に広い日本の坪数に直して七十町歩といはれました。この道場は今後益々のびてブラジル教化の中心になるべきですが、多少此処はまだ郊外にありまして広いブラジルの全地から集るには不便な点があるのでありまして、もっと便利な所に生長の家のブラジル総支部が大きく作られるといふことを私は希望したいと思ふのでございます。（拍手）

ブラジル国に於けるこれだけ盛大な信徒の数を合衆国のそれと比較して見ますならば、皆さんが本当に決意をなさいましたならば、それが出来ないといふことはないのであります。

私はアメリカのユタ州にあるソートレーキ市にまゐりました時に、あそこにあるモルモン教の本部である会

場を參觀いたしました。彼処の音楽堂を見たのでありますが、あれはキリストが、ユダヤで磔けになったその日のその時間に、北アメリカの或る所にキリストが姿を現はして、そして啓示を与へたといふ伝説がもとになつてをりまして、その特殊のキリスト教がですね、今までの伝統のキリスト教と違ふ——そのために非常に迫害されて、その信徒が一千人ばかりその地をのがれて、その途中、土人のインディアンに襲撃されたり、色々の艱難をけみしながら、あのソートレーキの土地までやつて来たのであります。その時に神から、

「此処がお前の土地である」

といふ啓示を受けて其処に大会堂を建設し始めたのであります。今其処に三千人に入る大音楽堂が建つてをります。それがですね、今から百年前のまだ建築の技術がそんなに発達してゐないときに、三千人を収容できる実に立派な大音楽堂を一本の釘もなしにこしらへたのでした。其処に天才的な楽器の製作者がをつたとみえて、世界一の大パイプ・オルガンを正面演壇の後ろにしつらへてある。黄金の高い柱がすうーと立つてゐるのは神殿であらうかと思つてよく見ますと、それは大きなパイプ・オルガンのパイプでありまして、それが黄金の柱のやうな荘厳に並んでゐて莊重な讚美歌のひびきが会堂全体をゆるがすやうに聞えて来たのであります。さういふやうな大会堂がですね、本当に、「我れ、この地にあつて、キリストの御霊を受けて、本当のキリスト教を弘めなければならない」と信仰による決意をした時に、今から百年前にでも、さういふものが出来た。そしてそのソートレーキ市の九十%の人間は全部モルモン教徒になつてゐるのであります。

ところで、このブラジルの土地は、すでに色々の体験談を私と一緒に、皆さんもおききになりましたが、キ

リストが磔けになった時に、北アメリカの或る地点にキリストが姿を現はしたといふのと同じやうに、私がまだ来ない先に、私が現はれた、肉体の私が来ない先に私の姿が現はれた、（拍手）そしてこの土地に本当のキリスト教であり、本当の仏教であり、一切の宗教の真髄であるところの真理を説く拠点として、このブラジル国を聖霊が選んだことを証明したのであります、そして此処にこのやうな盛大なブラジル国に於ける生長の家の繁栄をみることが出来るやうになったのであります、神が此処に聖霊を天降し給うて、信ずる者一人々々にその聖霊を与へてをられるわけなんであります。それを霊眼で見えた人もあれば、まだ見ない人もあるけれども、昨日も体験談でおっしゃったやうに寺前さんの後に、白いヒゲを胸までたれた、白い衣を裾までたれた生長の家の神さまがかうしてをられるのがブラジル人に見えた、といふやうに、皆さんは生長の家の幹部としてかくの如くして神さまから使命を与へられ、その背後にはその霊眼で見得る人と見得ない人はあつても、見えなくても見えなくても、皆さんの背後には、この白髪の老翁の塩椎大神（キリスト教では黙示録第一章にある白髪のキリスト）がついてをられて、そして皆さんに霊力を与へ、人類全体を救ふための使命を与へてをられるのであります。皆さんは決して自分の力で人を救ふのではないのであつて、神さまがこのブラジル国を選んで、そして「世界の人類の今までの宗教はみな歪められ間違つて伝へられてゐるから、此の国を拠点として真理を説け、そしてここブラジルに於ける人たちが一番『人類無罪宣言』を受け入れやすい民族であり、これこそ大乘カトリック教相応の地である」と仰せられてゐるのであります。何故なら、一切の人種が此の国にはをって、あらゆる民族が本当に調和して人種を排斥することなしに調和して生活してをって真理を素直に受け入れるか

らであります。このブラジルには全地球上の人種がみなここに集ってをって、それらの人たちが本国へ帰れば、このブラジル国において拡がってゐるところの生長の家の教へを本国へ持って行って自然に全世界に伝へることになる。だから、ブラジル国に於て白人たちや黒人たちにこの教へをひろめることは、此処が拠点としてヨーロッパ全土に、そしてアフリカ全土にですね。生長の家の説く本当の真理が拡まることになる。その拠点となり中心になるのがこのブラジル国であります。（拍手）

だから、すべての人種を此のブラジル国に集めて、其処に「人類無罪宣言」の正しきキリスト教が説かれ、それによってこのブラジル国に集ってゐるところの各民族が又郷里に帰ったり、または郷里の人々に通信をしたりする時に、自然に全世界にこの「人類無罪宣言」が拡がり行き、人類が「神の子」としての正しい人間觀を獲得し、それによって地球上の全人類が救はれるその拠点となり中心となるべき所がこのブラジルであるといふことを知って頂き、そして皆さんひとりひとりがこの生長の家の幹部としてその尊い使命を神さまから受けてゐるんだといふことをお考へになりましたならば、実に皆さんの使命は尊いものであり、莊嚴なものであります。神さまが特に皆さんをこの地に呼んでそして、此処を中心として世界を光明化せよと言ってをられることだと信ずるのであります、皆さんはその使命をよく自覺して頂いて、どうぞこの凡ゆる人種に対してこの生長の家の説く真理を弘めて下さるやうに希望致します。（拍手）